

集塵能力を上げて、火災の危険性をなくしたい！

これまでは削り出したゴムのカスが詰まり、配管の中で火災になる危険性がありました。そこで、集塵能力の高い集塵装置に入れ替えをし、吸引力を上げる工夫をしました。また、制御盤も設置したことにより火災の危険性を減らすことが可能となりました。

集塵機入れ替え

BEFORE



AFTER



温度センサー
出火した際にわかる

着圧計
フィルターが詰まった時に
わかりやすくなる

ふるいレバー
フィルターに付いたゴムの
カスを手でふるい落とす

削り出し機械についての改善

BEFORE



ジャバラをはめているだけで
隙間があり吸引力がない

削り出したゴムを吸い取る

AFTER



ジャバラが角パイプに合うよ
うに接続し、アルミテープで
補強することにより吸引力を
落とさないようにする。

BEFORE



吸引したゴムのカスが直接
集塵装置にいく構造のため、
集塵装置のフィルターがづ
まりやすい
→配管の中で火災の危険性

AFTER



電磁弁

温度センサーを入れ、火災の
事前察知をし、温度センサ
ーが60℃を超えると自動で放
水し消火を行う。

サイクロン

制御盤の設置

AFTER



別途、制御盤を設置し温度センサー計4カ所の温度
を盤面に表示できるようにした。60℃になった時点
で電磁弁が開放し放水開始。